



かみとんだ 議会だより

第155号

2016.9



7月27日、なのはな保育所の竣工式が開催されました。

6月議会で4議員が一般質問を行いました！

- 九鬼裕見子議員：☆自主防災組織の取り組み強化と自治体職員としての任務について
☆保育所職員の諸問題について ☆学校給食実施に向けての取り組みについて
- 松井孝恵議員：☆県道岩田～保呂線について
- 吉田盛彦議員：☆防災対策について☆町道篠原線について ☆町道篠原橋について
☆生馬川大宮地区の浚渫工事について
- 櫻木正行議員：☆まちかどカフェについて

発行／和歌山県上富田町議会 編集／議会広報特別委員会

〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763

TEL(0739)47-0550 FAX(0739)47-5959

「議会だより」は、上富田町のホームページにも掲載しています。また、インターネット配信で議会の様子もご覧いただけます。

九鬼 裕見子 議員

(質問方式 一問一答方式)

1. 自主防災組織の取り組み強化と自治体職員としての任務について
2. 保育所職員の諸問題について
3. 学校給食実施に向けての取り組みについて

ここが聞きたい!

平成28年度6月定例会の一般質問は日程2日目の6月14日に行われ、4議員が登壇し、当局の考えを質しました。その質問、答弁の趣旨をまとめて掲載しています。



1. 自主防災組織の取り組み強化と自治体職員としての任務について

質問 ①自主防災組織の現状について

紀伊民報に「自主防災組織、自分たちで地域を守る意識を」との論で報じ、半島にある和歌山県は陸の孤島になることも考えられるとして自主防災組織の必要性が述べられていました。上富田町の自主防災組織の結成率と実際活動している組織数はどうなっているか。

総務政策課長 自主防災組織の結成率は44%。自主防災組織の現状は防災訓練をしているところもあるが、年1、2回防災器具の点検、消火栓の位置確認のみ行っている組織もある。

質問 今の自主防災組織の取り組みでコミュニケーションがとれ、自分たちで守る事が出来るのか。災害時行政による公助だけでは、被災どころか被害が拡大される。他府県からの経験からも、

地域のコミュニティが大事とされている。作業手順を今から地域住民の方とマニュアル化し初期対応が必要と考える。その事が減災につながる。住民の命を守ることに思っている。自主防災組織が100%になる働きかけができないか。

総務政策課長 自主防災組織により避難所の開設、運営等、自分たちのことは自分たちで守れるようにと考えている。訓練を繰り返すこと、地域でのつながりも生まれ、災害が起きたときの行動対応も自分たちで確立していただきたい。町としても積極的に協力していきたいと考えている。

質問 ②自治体職員の災害時の任務について

災害時職員はどういった任務配置になるのか。

災害対応は奥深く、自治体職員が減らされる中で、不眠不休で災害対応に従事しなければならぬ現状がある。いざというとき自治体職員としての任務で働けるよう、自主防災組織をしっかりと立ち上げ地域でのコミュニティが大切ではないかと考える。

総務政策課長 地域防災計画で職員災害対応マニュアルが作成されている。災害時の事務分掌が各課、各グループで役割分担を定めており、非常

招集訓練にはマニユアルに基づき、各課グループで訓練を行っている。

2. 保育所職員の諸問題について

質問 ①保育所職員の現状について

2か所の保育園になったが正規職員と非正規職員の人数、非正規職員で担任を持った場合の待遇、年休や一時金の支給はどうか。

住民生活課企画員 4月1日現在、正規職員は19名、非正規、臨時職員は49名、非正規、臨時職員が担任を持った場合担任手当を処遇している。年次休暇は、勤務年数によるが、28年4月から最大20日取得できる。一時金も夏季冬季それぞれ支給している。

質問 新聞報道にもあったように働きと責任に見合わぬ待遇。一時金も2年以上は同じになっている。乳幼児期は人として育つ人間形成の場であり、発達を保障する大事な時期。未来を担う子どもを育てる重要な仕事をしていく保育現場で、非正規保育士の待遇改善を考慮する必要があります。

住民生活課企画員 賃金引上げについては今後予算とも検討しながら進めていきたい。

質問 ②保育士不足の現状はどうか

当初は臨時保育士が2名不足していたが園内職員でローテーションを組んで調整、4時間勤務保育士を7時間勤務保育士に雇用することで解消している。

質問 ③待機児童の現状はどうか

住民生活課企画員 待機児童は現在1歳児2名いて、小規模保育所の運営状況をしながら随時対応し解消の見込みとなっている。

質問 小規模保育所の定員19名を21名受け入れたいという方向を国がだしているが、詰め込むというやり方はどうかかと思

う。また、働きたくても保育所に入れないと仕事を探せないとの、お母さんの声に対して、子育て支援として改善策はないか。

住民生活課企画員 保育

クラスの設定の状況があるため、必ず入所できるとは断言できないが、入所申請を提出していただいた上で審査させていた

3. 学校給食実施に向けての取り組みについて

質問 ①学校給食実施に

あたり、今という段階か
教育委員会総務課長 災害時等を考慮し、低地ではなく高台で上富田スポーツセンター近くに用地を求め、国の補助金の内示もつき、公設で給食センター建設となっている。

町長 民営の中でも指定管理する。7月中に町の委託に対する仕様書をつくり委員会に説明するまでは進んでいる。

質問 災害時の対応についてはどうかか。
教育長 業務委託契約の中に協力業務として協議、検討していく。

質問 地産地消は無理としても、町内で利用できる材料は使うという方向は考えていないか。
教育長 年間を通しての供給は無理があるが一時期であっても供給できないか研究し検討していく。

質問 保護者説明会で意見や要望が出されたか。
生馬は、自校方式からセンター方式になることに理解をしたのか。

教育長 保護者のみなさんから建設的な意見をいただいた。生馬小学校は自校方式からセンター方式に変わるが、センター方式であっても給食の意義は変わらないこと

の理解をいただいた。

松井 孝恵 議員

(質問方式 一括方式)

1. 県道岩田～保呂線について



質問 市ノ瀬の地区は何気ない風景の中に非常に自然が豊かで穏やかな風景が広がっている。梅雨といっても、今最高の時期で栗山トンネルから市ノ瀬方向を見ると、田園風景が広がっていて、正面に分嶺山、左に横山、右には麦小森が見える。水田の中を風が駆けていくのが見える。俳句で「青田波」「青田風」という風景が広がっている。平成二年に小学校が移

転し、その後、大芝のど真ん中を一直線に道路が拡幅された。住民にとって利便性の高い道路として利用されている。下ノ岡の夏祭り、それから中ノ岡、宮ノ尾地区に若い方々がどんどん移住して家を建てて、町内会・子ども会・PTAなどの中心を担ってくれているのが現状である。古くを言えば、ゴルフ場ができた根皆田の地区、道ができたお蔭でどんどん家が増えたが皆さん大変仲良く暮らされている。また、小山の区間、改良されたお蔭でコスモスを始めとして大変活気のある地区へと変貌してきた。

少し前に、我々が住む紀南の道路に対して「無駄な道路は必要ない」と言った方々がいたが、しかし昨年、高速道路が開通し、その利便性はいうまでもなく、いざ災害の時には白浜空港からフラワーラインを通じて上富田へ、また大阪方面から物資などが届けられるということは間違いないと考える。

私は、「道というものに無駄なもの一つもない」と考えているし、上富田町のようにコンパクトな町であっても、まだ整備及び改修は必要だと考えている。さて、そこでさっきの畑山の栗山トンネルを抜けて岩田の橋へ向かうと、この交差点何とか改良できんのかとか、生馬橋までもうちょっと広かったら行き来もしやすいと思うわけです。定例県議会で県土整備部長さんが岩田保呂線の一日の交通量は千五百台と少ない、と答えられていました。議員さんは、住民としては改良ができていないから、本当は通りたいいけど通りにくいから少ないのではないかと切り返されていた。この議員さんと同じ思いをした。

現在、口熊野マラソンのコース、平時は町民だけでなく周辺住民も使用する利便性の高い生活用道路、災害時には迂回路として必ず活用されると思われるが、まず一つ目の質問は、この未改良である岩田橋から生馬橋の区間の道の重要度、町としてはどのように認識されているか。

次に、生馬橋から保呂にかけての区間は約一億八千万円の予算がついていよいよ完成の目途がついてきた。町が先行取得した土地もやっと活用できることになったと聞いている。そこで残りの岩田橋から生馬橋までの未改良区間、県の整備部長さんは地籍調査が進展し用地の協力が得られるなら事業化を検討すると答弁されている。二つ目の質問はこの区間の地籍調査の優先度はどうなっているか。

次に、去る三月、知事が上富田で県政報告会を開いた。話の流れの中で「岩田のあそこ、ちょっと早よやらなあかんね」と。これは道のことやなと思った。ただ、知事が治さなあかんとか、町が地籍調査と思っても、本当に重要なことはこの地域にお住みになっている住民の方々の意向がどのようになっているか。また、周辺の企業さんもどのようにこの道のことをお考えになつているのか、3つ目の質問としてお聞きします。

産業建設課企画員 町として県道岩田保呂線は国道42号への311号の迂回路としての機能を果たしており、交通の要所として重要路線であると考えている。毎年、県に対し、郡町村会、県議会建設委員会等を通じて当路線の早期改良について要望を行っており、県としても改良が必要との認識はいただいている。現在、生馬地区において拡幅等改良工事を進めていただいている、町として今施行中の工事が完了後、生馬橋から岩田橋区間についても早期に改良工事を実施していただけるよう引き続き要望していきたいと考えています。

続いて、地域にお住まいの住民、周辺企業の意向について。地元町内会から、立派になった市ノ瀬橋から岩田橋間に対して比較にならない現状だと思われています。県道の現状と住民の長い間の願い、大手工場通勤者、運送業者の通行安全等、ご理解いただき、できるだけ早期に地元住民全員の願いである道路拡張についての計画をご検討いただきますようお願いいたしますとの声、要望を毎年いただいています。

総務政策課企画員 地籍調査の優先度についてお答えします。今年度から地籍調査の基本である土地所有者調査及び土地相続人調査を下田熊・田中・稗田地区で実施しています。平成二十九年年度で現地調査、三十年年度

閲覧、三十一年度で認証と法務局の登記書き換え等予定しています。現在、最優先課題として位置づけし、実施しています。

最後に 町長はかつての質問に、用地の買収が終わったら終わりという時代もあったが最近登記しなければ着工できませんよという答弁だった。また、用地担当の職員も少なく、地元の協力をお願いしたい。財源が厳しいので国費対象の整備でなければできない、進めたいので協力してほしいと、答えられている。色々な意見があるが、その中には議会が採択した財源は議会ではなく行政が予算化するんだという意見、当然正論だが、ただ議員であっても住民のためになるんだというようなことに対しては、やっぱり行政とか当局とか、町長だけに任せるとはなくて、予算獲得以外にも、微力であっても私たちが歩調を合わせる、とこういう姿勢が大事と考える。よりよい方向にいくようお願いいたします。

吉田 盛彦 議員

(質問方式 一問一答方式)

1. 防災対策について
2. 町道篠原線について
3. 町道篠原橋について
4. 生馬川大宮地区の浚渫工事について



1. 防災対策について

質問 日本列島は大雨、洪水、台風、地震、津波、火山噴火、ほとんどの自然災害が集中している。30年後に来る地震の確立が70%とか、近々必ず来るとか言われております。また、ここ二十数年の間に阪神淡路大震災

があり、東北地震、熊本、また全国で毎日地震の報道がされ、住民は地震に対して大変敏感になっている。そういった事を念頭に置きながら質問します。

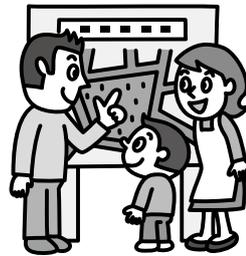
災害時の仮設住宅の場所と人数的な規模、また建築廃材の置き場の確保はどうか。

総務政策課企画員 仮設

住宅については町内各地に計画しているが、これ以上になつた場合、スポーツセンターを利用して300戸以上の建築を予定している。国基準で一戸当たり9坪の計算です。スポーツセンター以外の仮設住宅は182戸で、約500人程度の避難住民が入れる予定です。

建築廃材等の置き場については、災害発生時、廃材、ごみ置き場の確保が重要と思っています。現在、候補地として市ノ瀬若者広場とその周辺、岩田の河川公園と駐車場を考えている。全国的に

は小学校の運動場を使っている所があるが、上富田では、子ども達がすぐに学校に復帰できるようにとの事で小中学校は建築場所から除外しています。



質問 避難所の見直しが必要ではないか。避難場所

は河川敷から小学校運動場、公民館、お寺と色々指定しているが、耐震の設備ができていないところが避難場所になっていないか。第一保育所あたりは50〜60センチもすれば、水が出る液状化の心配もある。また、土砂災害にかかっている避難場所も指定されている。見直しの必要はないか。新川沿いの海拔は13メートルしかない。大雨、洪水と満潮時が重なった時に、地震のあった場合

を心配する。本当に安全宣言を住民にしているのか？

総務政策課企画員 避難

場所についてはごもつともです。現在施設関係で37ヶ所、小学校グラウンド等で14ヶ所設定している。災害に応じた使い分けが必要と考えている。耐震化ができていない建物は使用しない。地震と豪雨が重なった場合、高台への避難が必要となる。現在の避難場所についても見直しの検討を行っている。新川沿いについては海拔13メートルということ、大きな津波で新川を逆流するとも考えられる。また、トンネルに白浜方面からの濁流の中で逆にゴミが詰まった場合など、なのはな保育所周辺は水没する可能性も出てくる。



質問 今、言ったような観点から、住民の声で海拔の表示を要所要所にしたい。

総務政策課企画員 町内

2. 町道篠原線について

質問 町道篠原線の整備について。乗用車が救急車が通るようにしなければと思うがいかがか。

産業建設課長 昭和60年

に県道から町道認定になった。旧卒塔婆隧道の中間まで町道で、現状を確認しながら修復していきたい。

3. 町道篠原橋について

質問 町道篠原橋の老朽化がひどく、鉄筋がむき出しの状態だが、解決の方策は。

産業建設課長 かなり老朽化している。診断結果は4段階中レベル3で早期措置段階となっている。30年度に補修工事を進める方向で計画する。

4. 生馬川大宮地区の浚渫工事について

質問 大宮住宅下流の生馬川の浚渫工事をされた

産業建設課長 県に確認を頂き、修復を早急にと要望していきたい。



榎木 正行 議員

(質問方式 一括方式)

1. まちかどカフェについて



質問 このまちかどカフェは町長も応援してくれていると思いたすけれども、行政の包括センター、社会福祉協議会が平成26年度から始まったまちかどカフェです。今は20力所ぐらいあるんですけれども、これを30力所ぐらいにふやしたいというところになっています。施設は各地区の町内会で行っており、またまちかどカフェは人の触れ合い、きずなを深め、ひきこも

り等社会的な孤独を改善すると、こういう目的にしています。きょうも現在、稲葉根カフェで1時半にやっています。きょうのプログラムは消費者被害にあわなないために、あしたはカフェとびの、これも第1回目です。それでその中で高齢者、障害者の中で行っているまちかどカフェの言葉が合い言葉のように各上富田町内会全体にやっているところでは、

その中で、運営にも多くのボランティアが無償で協力をいただき、訪れる方々にお茶、コーヒー、お菓子などをふるまっております、参加者は100円を握りしめて団らんのおやしを求め、まちかどカフェを心のよりどころとしている方も多くいらっしゃると思います。しかし、現状ではまちかどカフェにかかる費用は参加者が支払うのは100円だけ、費用は特に発生していませんが、町内会の水道代、光熱費、今後どうするか。これは一部の町内会になるんですけれども、また空き家についても同じことだと考えています。このまちかどカフェで私たち上富田町の身体障害者の会か

らは4月の会議の中で毎年10万円の助成金を出すことに決定しまして、毎年これは私たち障害者の会が自動販売機等などで売り上げがあった一部です。身体障害者も高齢者と同じひきこもりなどが同様の問題を抱えており、同じベクトルのまちかどカフェに賛同することで問題を共有したいと考えております。

また、内容にも独自性が生まれております。地域の住民の方に通いの場を運営していただくというところで住民同士のつながりをつくり、社会的孤立化を防ぐ地域づくりができていくと考えております。

運営のための支援としましては、社会福祉協議会と地域包括支援センターが連携して行っておりますが、やってみようというボランティアの方々の意欲を大切にスミーズに運営が開始でき、継続していけるよう側面から支援しております。ご指摘の費用につきましては、まちかどカフェ全体を通してお答えさせていただきます。菓子類につきましては、今後も参加者のご負担でお願いしたいと考えております。電気、水道代など光熱費につきましては、地域の高齢者のひきこもり予防や健康づくり、介護予防に役立てばというところで、町内会様や開催場所のご提供者様のご好意によりご支援をいただいているところがあります。今後とも、カフェの数や参加人数がふえていくと予想されますが、引き続き関

係者様のご支援をお願いしたいと存じます。なお、まちかどカフェを継続していくためには、ボランティアとして運営していただいている方々のモチベーションが持続するような支援が必要です。交流会や研修会を定期的に開催し、各地区で工夫している点などをお互いに情報交換をする場をつくり、開催していただくボランティアの方のモチベーションアップにつなげていきたいと思っております。そのほか、運営するに当たって必要な支援につきましましては、それぞれの場所によっていろいろ出てくると思っておりますので、ボランティアの方々と話しながら検討していきたいと考えています。

質問 町長、一応、思いと考えを一言お願いいたします。

もう一つは、まちかどカフェにも出られないような方についてはどういふふうにするかというのが大きな課題になってくるような気がいたします。それにつきましては、熊野高校の生徒さん、きのうも来ていたけれども、ハートフルチェックというところで訪問してくれているような格好なんです。要するに、地域の中で高齢者の人の対応、生活をどういふふうにするかというところ、議員の皆さんも率先して歩いていただくとか、こういうものに参加していただくようお願いします。

町長 町民の健康管理を十分にして医療費とか福祉の費用を安くするという運動が全国的に進んでいるんです。そういうことで、運動することによって、すぐ出るわけでもないんですけれども、1年後、2年後に介護保険料がどういふふうにならな

町長 町民の健康管理を十分にして医療費とか福祉の費用を安くするという運動が全国的に進んでいるんです。そういうことで、運動することによって、すぐ出るわけでもないんですけれども、1年後、2年後に介護保険料がどういふふうにならな

町長 町民の健康管理を十分にして医療費とか福祉の費用を安くするという運動が全国的に進んでいるんです。そういうことで、運動することによって、すぐ出るわけでもないんですけれども、1年後、2年後に介護保険料がどういふふうにならな





**奥田議員
表彰される**
(議長在職3年以上)

この賞は、議会議長として地方自治の振興・発展に寄与した功績により和歌山県町村議会議長会から奥田議員が表彰されました。

6月議会の初日、会議に先立ち、受賞された奥田議員に表彰状の伝達式を行いました。

伝達後、山本議長から祝辞があり、奥田議員が謝辞を述べました。



和歌山県 町村議会 全議員研修会

日 時：平成28年8月5日(金) 13:30~15:00
場 所：日高川町 日高交流センター
講 演：「野球界におけるリーダー論～野村・長島・星野に学ぶ～」
講 師：広澤克実氏(プロ野球解説者)



**熊本地震の
被災地へ
義援金を送金**

この度の熊本地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

上富田町議会で、全議員からのお見舞い金をお預かりし、義援金として12万円を6月8日付けで熊本県町村議会議長会宛に送金いたしました。

被害に遭われました熊本県民の皆様にお役に立てただかくことを望むとともに、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。



各委員会による現地調査

総務教育常任委員会

- 視察場所
1. 田辺市消防本部
 2. 学校給食センター建設予定地
 3. 観光農園建設現場



田辺市消防本部 司令室



学校給食建設予定地



清本観光農園建設現場

産業民生常任委員会

- 視察場所 1. 第1上水道 2. 上富田浄化センター 3. なのはな保育所
4. 上富田町花卉団地 5. 大内谷南紀の台線



第1上水道



上富田浄化センター



なのはな保育所



上富田町花卉団地



町道 大内谷南紀の台線

意見書

6月定例会で一件の意見書が提出され、可決し国の関係機関へ送付されました。

次期介護保険制度改正における福祉用具、 住宅改修の見直しに関する意見書

平成27年6月30日に閣議決定された「骨太の方針」の中で、次期介護保険制度改正に向けて、軽度者に対する福祉用具貸与等の給付の見直しを検討することが盛り込まれました。現行の介護保険制度による福祉用具、住宅改修のサービスは、高齢者自身の自立意欲を高め、介護者の負担軽減を図るという極めて重要な役割を果たしています。

例えば、手すりや歩行器などの軽度者向け福祉用具は、転倒、骨折予防や自立した生活の継続を実現し、重度化を防ぎ遅らせることに役立っています。また、安全な外出機会を保障することによって、特に一人暮らしの高齢者のとじこもりを防ぎ、社会生活の維持につながっています。

仮に軽度者に対する福祉用具、住宅改修の利用が原則自己負担になれば、特に低所得世帯等弱者の切り捨てになりかねず、また、福祉用具、住宅改修の利用が抑制され重度化が進展し、結果として介護保険給付の適正化という目的に反して高齢者の自律的な生活を阻害し給付費が増大するおそれがあります。

以上の理由から次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しにおいては、高齢者の自立を支援し、介護の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って介護が必要な方の生活を支える観点から検討を行うことを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年6月16日

和歌山県西牟婁郡上富田町議会

提出先 内閣総理大臣 厚生労働大臣

会期（平成28年6月10日～17日）

8日間

6月 議会

6月定例会に町長から、条例、補正予算、人事関係の計17件の案件が提出され、いずれも原案のとおり承認・可決・同意しました。

補正予算関係（一般会計）

<平成28年度 一般会計補正予算（第1号）>……今回1億846万6千円を追加し、予算総額を58億9682万4千円としました。

（主な事業内容）

総務費

（総務管理費）

- ・熊本地震への被災地支援のための普通旅費……………100万円
- ・熊本地震への義援金……………100万円
- ・生馬出張所の移転に伴う生馬財産区への繰出金……………1200万円

（庁舎維持管理費）

- ・消防設備の修繕料……………80万円

（財産管理費）

- ・公共下水道事業費会計及び水道事業会計からの公有財産購入費……………6605万5千円

（交通安全対策費）

- ・防犯カメラ設置工事請負費……………201万3千円

民生費

（社会福祉総務費）

- ・特別会計介護保険への繰出金……………120万円

（大谷総合センター運営費）

- ・空調設備修繕料……………33万2千円

（保育所建設事業費）

- ・建設工事請負費……………1873万2千円

衛生費

（保健衛生総務費）

- ・特定不妊治療費補助金……………45万円

商工費

（商工総務費）

- ・石川県津幡町と北海道東川町との交流事業普通旅費……………66万2千円

土木費

(土木総務費)

・彦五郎公園の藤棚修繕料…………… 75万円

(河川総務費)

・井ノ谷排水ポンプのバッテリー修繕料…………… 97万2千円

教育費

(社会教育総務費)

・市ノ瀬河川敷環境美化推進実行委員会へのコミュニティ助成事業補助金…………… 250万円

条例関係

◎上富田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

(建築基準法施行令の一部を改正する政令の施行及び修学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の改正に伴い、本条例の一部を改正するもの)

◎上富田町保育所条例の一部を改正する条例

(なのはな保育所建設工事が完成することから、完成するまでの間、分所として位置付けをしていた元朝来第2保育所の所在地を除くために本条例の一部を改正するもの)

◎上富田町花卉生産共同団地設置及び管理に関する条例を廃止する条例

(社会福祉法人「大塔あすなろ会」の障がい者福祉施設が花卉生産共同団地へ移転することに伴い本条例を廃止するもの)

◎上富田町生馬花木集荷所設置及び管理に関する条例を廃止する条例

(生馬出張所、財産区、愛郷会の入った建物・土地の売却に伴い生馬花木集荷所を売却して移転先とするため、本条例を廃止するもの)

人事案件

◎任期満了に伴う上富田町朝来財産区管理委員会委員の選任について、議会の同意が求められ、全会一致で同意しました。

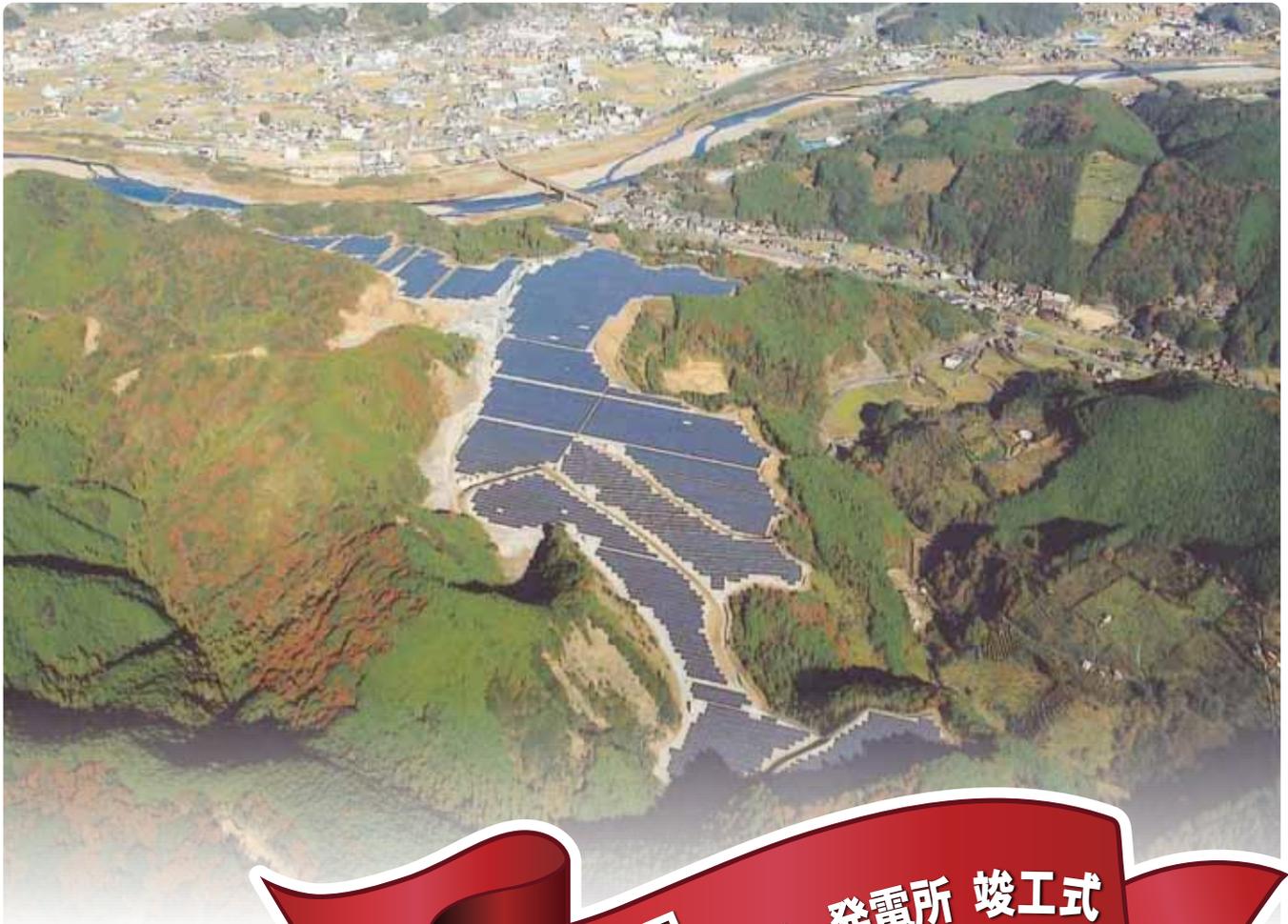
上富田町朝来	堀 清一氏	(再任)
〃	谷地 盛章氏	(再任)
上富田町岩崎	柏山 文人氏	(新任)
上富田町岩崎	佐々木 誠司氏	(新任)
上富田町岩崎	古家 優司氏	(新任)

工事請負契約

工事名…………… 上水道事業第1浄水道受変電設備更新工事

契約額…………… 170,100,000円

契約相手方… 横河ソリューションサービス株式会社関西支社
支店長 大里陽一



**5月26日
上富田町メガソーラー発電所 竣工式**



祝 和歌山県上富田町メガソーラー発電所 竣工

編集後記

私たちが今回議会広報特別委員会に選ばれました。町民の皆さんによく見ていただけるわかりやすい「議会だより」にしたいと考えています。ご愛読をお願いします。



編集中の議会広報特別委員会

- | | |
|------|------|
| 委員長 | 榎木正行 |
| 副委員長 | 榎本敏 |
| 委員 | 松井孝恵 |
| 〃 | 谷端清 |
| 〃 | 奥田誠 |
| 〃 | 沖田公子 |
| 議長 | 山本明生 |